

出雲崎町～柏崎市松波の調査

調査日：2007年7月17日 9時半大学出発・17時帰着

メンバー：卯田強・平松由起子・飛藝純子・川村麻子・田中信行

海岸線(R352)沿いに、出雲崎町～柏崎市松波にかけて概査を行なった。

震央の宮川・大湊よりも柏崎市の中心近く、荒浜・松波で被害が多く見られた。(飛藝文責)



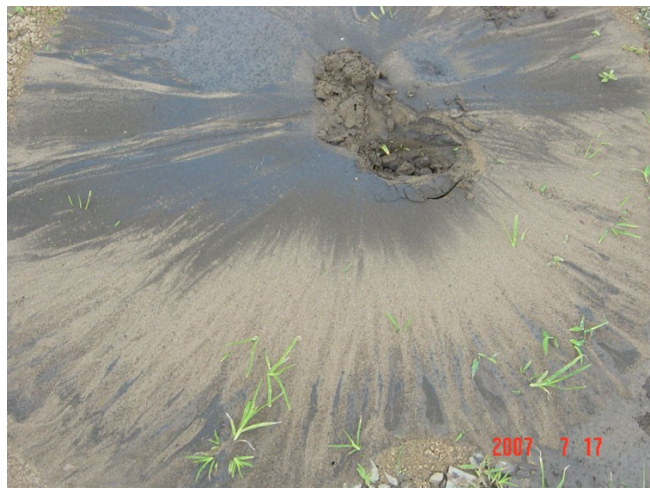
↑①観音岬 北側斜面の三箇所、大きな表層崩壊。



↑②①のズーム 表層崩壊による道路の遮断。崩壊したのは椎谷層である。



↑③観音岬付近 直径約1m噴砂跡が二つ並んでいる。噴出孔の周辺の黒い部分は重鉍物。



↑④③同所 二回の噴砂跡。噴出孔付近の黒い噴出物以外に、外側にも黒い噴出物が見られる。

⑤椎谷→
高さ2m以上の
ブロック塀の
倒壊。道路の片
側を遮断してい
る。



↑⑥浜忠 全壊した古い二階建ての建物。一階部分は完全に倒壊。



↑ ⑦松波 全壊した古い倉庫。道路側に倒壊して、自動車の通行を困難にしている。



← ⑧松波
ブロック塀の倒壊と道路の亀裂。ブロックがバラバラに倒壊している。道路は中央から裂けている。



↑ ⑨松波、鯖石川改修記念公園 長さ50m以上の亀裂。多くがN50E方向に走っている。亀裂の高さ・深さともに最大約45cm。液状化の発生する亀裂と発生しない亀裂があった。



← ⑩⑨同所
亀裂部分以外に地面が盛り上がる部分が見られる。



↑ ⑪⑨の川上側
雁行配列の亀裂。地面上を植林用の布が覆っており、亀裂とともに裂けている。



↑ ⑫⑪付近 液状化による噴泥。亀裂部分から発生した。